

保健体育科学習指導案

令和7年〇月〇日 第〇校時

〇〇高校 〇年〇組 〇名

指導者 _____

1 単元名 生涯を通じる健康「働くことと健康」

2 単元について

(1) 教材観

生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康の関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考し、判断し、表現できるようにする必要がある。また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること、それらを踏まえ、自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること、労働に関わる社会資源などを適切に活用することなどを中心に構成している。

(2) 生徒観

本学級の生徒の実態においては活発であり、高校生として取り組むべき学習や部活動などに関する興味関心は高いが、自身が働くことで社会へ貢献していくことや働く意義について考えている生徒は少ない。また、働くことに関する知識が乏しく、職種や労働環境、給与形態など社会人として身に付けておくべき知識について学ぶ必要がある。

(3) 指導観

授業を通して、働き方や働く人の健康問題が変化してきている背景について考え、社会の変化に伴って求められる力も変化することを理解し、労働環境についての正しい知識を身に付けさせ、将来働く立場になったときに適切な行動選択や意思決定ができるようにしたいと考え、本単元を設定した。

3 単元の目標

(1) 働くことと健康について、働き方や働く人の健康問題が変化していること、自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができるようにする。

(2) 働くことと健康について、課題を整理したり、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したりして、筋道を立ててそれらを説明することができるようにする。

(3) 働くことと健康について、自他や社会の課題の解決方法及び適切な活用方法の選択に向けての話し合いや意見の交換等に主体的に取り組むことができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 働く人の健康の保持増進は、心身両面にわたる総合的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたこと、健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用して生活の質を高め、健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>① 働く人の健康の保持増進のための職場の取組について、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道を立てて説明したりしている。</p> <p>② 労働災害と健康について、自他や社会の課題を発見するとともに、個人の取組と社会的対策を整理して、労働災害を防止するための方策を選択している。</p>	<p>① 労働災害と健康・働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画(3時間)

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (本時)	<p>1 働くことの意義と健康のかかわりについて説明できる。</p> <p>2 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。</p>	①	①		<p>観察</p> <p>ワークシート</p>

2	1 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 2 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	②			ワークシート
3	1 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 2 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	③	②	①	観察 ワークシート

6 本時(1/3時)

(1) 目標

- ・働く人の健康の保持増進は、心身両面にわたる総合的な対策の推進が図られることで成り立つことについて理解したことを、言ったり書いたりすることができる。
- ・働く人の健康の保持増進のための職場の取組について、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道を立てて説明したりすることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的な評価規準	評価方法
5分	1 働くことに関するアンケートに回答する。	○一人一台端末を活用し、Forms で働くことに関するアンケートを実施する。		観察
10分	2 職種・働き方に関するクイズに答える。	○スライドを活用して働くことについて説明し、職種や働き方の変化について説明する。		
10分	3 職種や働き方が変化してきた背景について考える。 【グループワーク】	○グループごとに意見をまとめ、Teams のホワイトボード機能を活用して全体に共有する。	○働く人の健康の保持増進は、心身両面にわたる総合的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを、言ったり書いたりしている。 (知識・技能)	観察 ワークシート

10分	4 働き方の変化に伴って、どのような健康課題が増えてきたか考える。	○社会の変化に伴って働く人に求められる力も変化していくことを説明する。	○働く人の健康の保持増進のための職場の取組について、課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道を立てて説明したりしている。 (思考・判断・表現)	観察 ワークシート
10分	5 働くこととストレスとの関係について意見を出し合い、発表する。	○働くこととストレスとの関係について、導入のアンケートを活用しながら説明する。		
5分	6 本時の振り返りを行う。	○学習内容のまとめをスライドに提示し、本時の振り返りをさせる。		

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化に伴って、働き方や働く人の健康課題が変化してきていることを理解し、学んだ内容について説明したり、書いたりすることができる。(知識・技能) ・働く人の健康を保持するための職場の取組について、グループワークの中で、課題の解決方法を理解し、筋道を立てて説明することができる。(思考・判断・表現)
「おおむね満足できる」状況を実現させるための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康との関係性について事例などを用いて、具体的な解決方法を想起させるような資料を提示する。(知識・技能) ・時代の変化にともなう働き方の多様化について、意見を出し合ったり、発表したりする活動のなかで、課題解決に向けた助言をする。(思考・判断・表現)